

港

旗野十一郎 (詞)
林柳波 (補作)
吉田信太 (曲)

♩=100 C

1 2 3 3 5 6 5 5 3 2 1 2 3 0
そーら も みなど も よはは れ て

F C G7

5 6 5 5 1 2 1 6 5 6 5 3 2 0
つーき に かすま す ふねの か げ

C G C G

3 3 1 1 2 5 5 4 3 2 1 5 0
はしけ の か よ い にぎや か に

C G7 C

1 2 1 1 5 6 5 5 3 4 3 2 1 0
よせく る なーみ も こがね な り

港 (みなど)

作詞・旗野十一郎 (はたのたりひこ/とりひこ) 補作・林柳波

作曲・吉田信太 (よしだしんた)

一 空も港も 夜ははれて

月に数ます 船のかけ

端艇(はしけ)の通い にぎやかに

寄せくる波も 黄金(こがね)なり

二 林なしたる 帆柱(ほばしら)に

花と見まごう 船旗章(ふなじるし)。

積荷の歌の にぎわいて

港はいつも 春なれや

*林柳波の補作 昭和22年『三年生の音楽』採譜の際に訂正されたもの

二 響く汽笛に 夜は明けて

いつか消えゆく 空の星

大漁の歌も いさましく

朝日を浴びて 船帰る